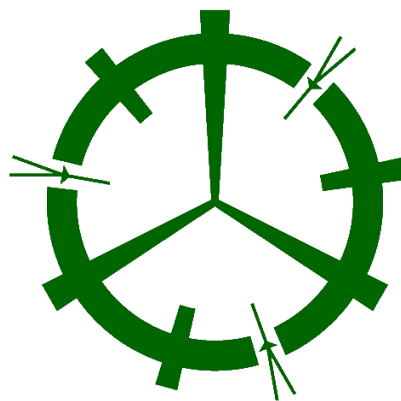


# 参考資料4

<平成24年7月27日 第1回定住自立圏構想関係市町村長会議 配布資料>

## 定住自立圏構想

## 共同中心市宣言書



平成24年3月29日

十和田市

三沢市

## 目 次

定住自立圏共同中心市宣言	1
1 都市機能の集積状況	3
2 都市機能の利用状況	6
3 圏域で連携が想定される取組	10
4 中心市（十和田市及び三沢市）への通勤通学割合が0.1以上である 自治体	11
5 中心市（十和田市及び三沢市）と連携する意思を有する自治体	11

## 定住自立圏 共同中心市宣言

我が国は、今後急速な人口減少時代に突入すると予測されており、三大都市圏と比較してその度合が著しいとされている地方圏の将来は極めて厳しい状況にあります。地方圏は、人口減少社会の到来に向けて今後、着実な対応を図っていかねばなりません。

近年の財政事情に鑑みれば、全ての市町村にフルセットで生活機能を整備することはもはや困難であり、「選択と集中」・「集約とネットワーク」の考え方に基づき、同じ生活圏に属する自治体は協力体制を強固にする必要があります。

また、これからの地方圏は、三大都市圏とは違った個性を発揮することで、「魅力ある地方」を創出し、新しいライフスタイルの提供や、地域経済の活性化を図り、人々の定住と都市圏からの移住を促進していくことが求められております。

このような中、定住自立圏構想は、中心市と周辺市町村が、自らの意思で1対1の協定の締結により圏域を形成し、連携・協力しながら住民の暮らしに必要な機能を確保し、圏域全体の活性化を図ることを目的としており、この構想に取り組むことは、十和田市、三沢市及び周辺町村の発展に大きく寄与するものと考えています。

将来において、この地域に暮らす人々が安心して住み続けていくため、そして素晴らしい自然環境を次代に受け継いでいくためには、中心市と周辺市町村がそれぞれの個性を活かしながら、一層の連携と協力を図り、地域全体の魅力を共に高めていくことが重要です。

これまで、十和田市と三沢市は同じ上十三地域広域市町村圏に属し、相互に連携し、周辺町村とともに圏域の発展を推進してまいりました。

このような背景を踏まえ、十和田市と三沢市の2市が、定住自立圏の「共同中心市」として、周辺町村との連携と役割分担の下、定住のために必要な都市機能の充実に努め、生活機能の強化とともに、結びつきやネットワークの強化を図るなど、安心で、活力ある地域づくりに積極的に取り組んでいくことを、ここに宣言します。

平成24年3月29日

十和田市長 小山田 久

三沢市長 窪 市一正

## 1

## 都市機能の集積状況

公共施設等による各種サービス機能、中核的な医療機能、商業機能、その他行政及び民間分野における都市機能の集積状況は、概ね以下のとおりであり、定住自立圏を形成する中心地域としての都市機能を有しています。

## (1) 十和田市

分野	都市機能	機関・施設名等
医療	公的医療機関	十和田市立中央病院、十和田市立十和田湖診療所
	初期救急医療機関	休日当番医(休日のみ) ※市内開業医 25 機関の当番制で休日の日中診療を行っている。
	二次救急医療機関	十和田市立中央病院、十和田第一病院
	市内医療機関	病院 5、診療所 34、歯科診療所 29
福祉	老人福祉施設等	特別養護老人ホーム 3、老人福祉センター1、デイサービスセンター12、地域包括支援センター1、在宅介護支援センター7、介護老人保健施設 4、認知症対応型グループホーム 10
	障害者福祉施設等	グループホーム 4、ケアホーム 2、就労継続支援 (A型) 3、就労継続支援 (B型) 9、就労移行支援 1、生活介護 5、自立支援 1、宿泊型自立訓練 1、福祉ホーム 2、施設入所支援 1、地域活動支援センター1、居宅介護 14
	児童福祉施設等	保育所 34、障害児通所支援 3、日中一時支援 4
教育	大学	北里大学獣医学部
	高等学校	三本木高等学校、十和田西高等学校、三本木農業高等学校、十和田工業高等学校
	小・中学校	中学校 10 校、小学校 20 校
	幼稚園	学校法人青森山田学園青森大学附属北園幼稚園、学校法人東北カトリック学園十和田カトリック幼稚園、学校法人さつき幼稚園、学校法人吉田学園十和田みなみ幼稚園
文化・運動等施設	文化・社会教育施設等	十和田市民文化センター・視聴覚センター、十和田市民図書館、郷土館、十和田湖民俗資料館、中央公民館、南公民館、東公民館、十和田湖公民館、十和田市農村交流施設沢田悠学館、勤労青少年ホーム
	健康・運動施設	十和田市総合体育センター、十和田市民屋内グラウンド、十和田市志道館、十和田市南屋内グラウンド、十和田市南運動広場、十和田市民プール、十和田市 B&G 海洋センター、十和田市サン・スポーツランド、十和田市野球場、十和田市陸上競技場、十和田市庭球場、十和田市相撲場、十和田市若葉球技場、十和田市高森山パークゴルフ場、十和田市高森山人工芝多目的グラウンド、十和田市高森山球技場、十和田市アネックススポーツランド、十和田湖総合運動公園体育館、十和田湖総合運動公園野球場、十和田湖総合運動公園陸上競技場、十和田湖総合運動公園テニスコート、十和田湖総合運動公園プール、八甲田パノラマパークゴルフ場、洞内地区農村広場(プール)、十和田市農村集落多目的利用施設(おらんどーむ)、十和田市林業者等健康増進用広場、市民の家
観光等施設	観光・レクリエーション施設	道の駅奥入瀬 (観光物産館・奥入瀬麦酒館・ステーキハウス味蕾館・味楽工房)、奥入瀬湧水館、奥入瀬溪流館、十和田湖温泉スキー場コミュニティーセンター、石ヶ戸休憩所、道の駅とわだ (とわだびあ・匠工房)、馬事公苑 (称徳館・駒っこランド)、新渡戸記念館、宇樽部キャンプ場ロッジ等宿泊施設、湯ノ台休憩所 (閉鎖中)、葛公衆トイレ、子ノ口案内所、十和田市現代美術館、十和田市観光物産センター
交通	都市間バス	十和田⇄東京
	路線バス	十和田観光電鉄株式会社 35 系統 南部バス株式会社 1 系統 JRバス東北株式会社 2 系統
	国道	国道 4 号、国道 45 号、国道 102 号、国道 103 号、国道 394 号、国道 454 号
金融	銀行等	青森銀行、みちのく銀行、青い森信用金庫、青森県信用組合、東北労働金庫、十和田おいらせ農業協同組合、郵便局 (14) ・簡易郵便局 (2)

商 業	大規模小売店舗	イオン十和田ショッピングセンター、十和田元町ショッピングセンター、十和田南ショッピングセンター、ユニバース十和田東一番町店、パワーズU十和田店、田清第1店舗、ナナオ家具百貨店、スーパーカケモ西金崎店、ヤマヨ十和田店、サンワドー十和田店リビング館、十和田ファッションモール、ツタヤ十和田店、スーパードラッグアサヒ十和田店、薬王堂十和田元町店、アクロスプラザ十和田南、ゲーム倉庫十和田店
-----	---------	---

分野・都市機能	機関・施設名等
国・県の出先機関等	<p>青森地方裁判所十和田支部、青森家庭裁判所十和田支部、十和田簡易裁判所、青森地方法務局十和田支局、青森地方検察庁十和田支部・十和田区検察庁、十和田労働基準監督署、三沢公共職業安定所十和田出張所、東北地方整備局青森河川国道事務所十和田国道維持出張所、十和田税務署、東北森林管理局三八上北森林管理署</p> <p style="text-align: right;">(以上、国の出先機関)</p> <p>十和田食肉衛生検査所、十和田警察署、上北地域県民局</p> <p style="text-align: right;">(以上、県の出先機関)</p>

## (2) 三沢市

分野	都市機能	機関・施設名等
医療	公的医療機関	三沢市立三沢病院
	初期救急医療機関	休日当番医（休日のみ） ※市内開業医 13 機関の当番制で休日の日中診療を行っている。
	二次救急医療機関	三沢市立三沢病院
	市内医療機関	病院 3、診療所 12、歯科診療所 18
福祉	老人福祉施設等	特別養護老人ホーム 5、老人福祉センター1、デイサービスセンター6、地域包括支援センター1、在宅介護支援センター4、介護老人保健施設 1、認知症対応型グループホーム 5
	障害者福祉施設等	グループホーム 2、ケアホーム 1、就労継続支援（B型）1、就労移行支援 2、自立訓練（生活訓練）1、居宅介護 5、相談支援 2、日中一時支援 2
	児童福祉施設等	保育所 18、障害児通所支援 2、ファミリーサポートセンター1
教育	大学	三沢基地内大学（セントラル・テキサス短期大学、メリーランド大学、トロイ大学大学院、フェニックス大学大学院）
	高等学校	三沢高等学校、三沢商業高等学校
	小・中学校	中学校 5 校、小学校 7 校
	幼稚園	学校法人春日台学園いちい幼稚園、学校法人小桧山学園三沢第一幼稚園、学校法人松園学園松園幼稚園、学校法人東北カトリック学園三沢カトリック幼稚園
文化・運動等施設	文化・社会教育施設等	三沢市中央公民館（三沢市公会堂）、三沢市立図書館、三沢市先人記念館、三沢市歴史民俗資料館、寺山修司記念館、三沢市勤労青少年ホーム、三沢市働く婦人の家、三沢市国際交流教育センター
	健康・運動施設	三沢市総合体育館（大体育場、武道場、弓道場、卓球室）、三沢市武道館（柔道場、剣道場、相撲場、競技場）、三沢市屋内温水プール、滝の沢市民プール、三沢アイスアリーナ（スケートリンク、トレーニングルーム）、三沢市南山屋外運動場（サッカー、ソフトボール、ゲートボール等多目的運動場）、三沢市南山テニスコート、三沢市民運動広場（野球場）、三沢市民の森総合運動公園（野球場、陸上競技場、ホッケー場、テニスコート）
観光等施設	観光・レクリエーション施設	青森県立三沢航空科学館、大空ひろば、斗南藩記念観光村、小川原湖観光センター「レークピア」、小川原湖畔コテージ、小川原湖畔キャンプ場、三沢オートキャンプ場、三沢市民の森温泉浴場、三沢漁港海水浴場「ビードルビーチ」、星野リゾート青森屋
交通	航空	三沢空港（日本航空 三沢・東京線 3 便）
	鉄道	青い森鉄道三沢駅
	路線バス	十和田観光電鉄株式会社 25 系統 （うち三沢市コミュニティバス 12 系統）
	国道	国道 338 号
金融	銀行等	青森銀行、みちのく銀行、青い森信用金庫、青森県信用組合、おいらせ農業協同組合、三沢市漁業協同組合、郵便局（6）・簡易郵便局（1）
商業	大規模小売店舗	テックランド三沢店、三沢堀口ショッピングセンター、マルホンカウボーイ三沢店、サンデー三沢店、Sky Plaza MISAWA、ユニバース三沢松園店、三沢ショッピングセンター、マックスバリュ三沢大町店、スーパードラッグアサヒ三沢店、コジマビル（よこまち）
産業	水産物流通拠点	三沢漁港

分野・都市機能	機関・施設名等
国・県の出先機関等	三沢公共職業安定所、航空自衛隊三沢基地、東北防衛局三沢防衛事務所 （以上、国の出先機関） 三沢警察署、上北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室三沢分室、 青森県地域共同就職支援センター三沢コーナー （以上、県の出先機関）

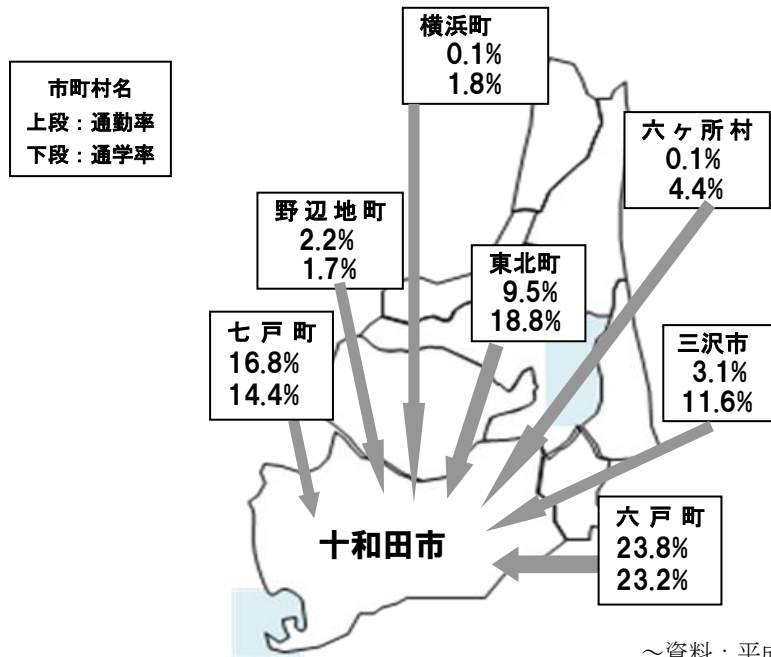
## 2 都市機能の利用状況

以下のとおり、通勤・通学、医療、商業など、日常生活において、十和田市及び三沢市に集積されている都市機能が周辺にある町村の住民によって利用されています。

### (1) 十和田市

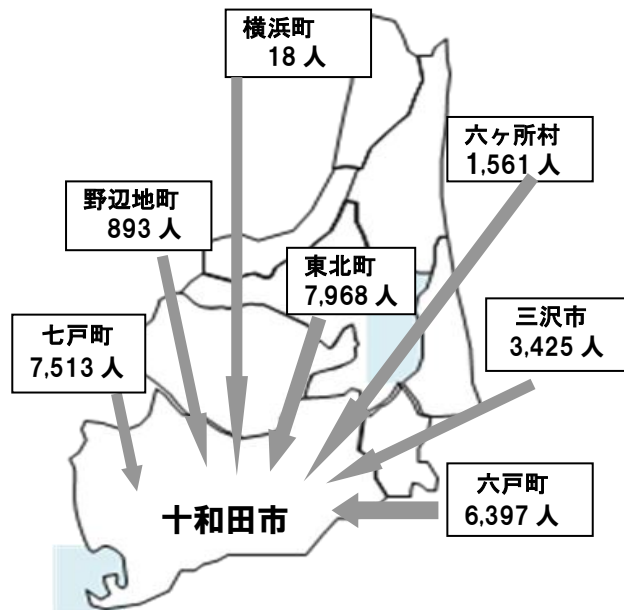
#### ◆ 通勤・通学者状況

図 十和田市への通勤率・通学率



#### ◆ 医療機能

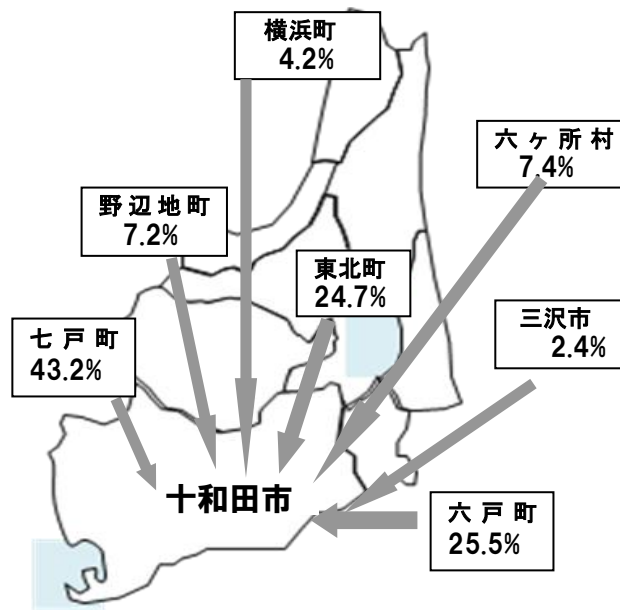
図 十和田市立中央病院への入院患者数





◆ 商業機能

図 十和田市への消費者購買実態 買回吸収率

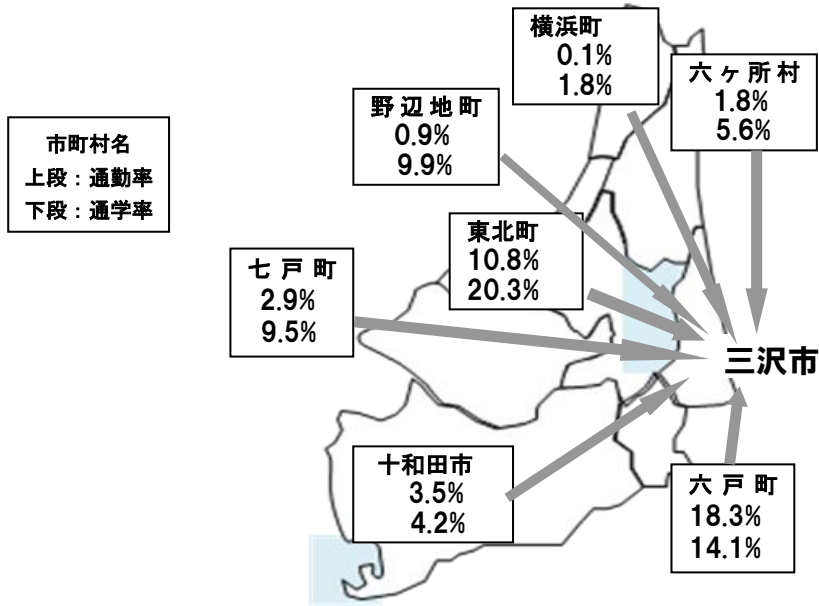


～資料：平成18年度消費購買動向による商圈調査報告書～

## (2) 三沢市

### ◆ 通勤・通学者状況

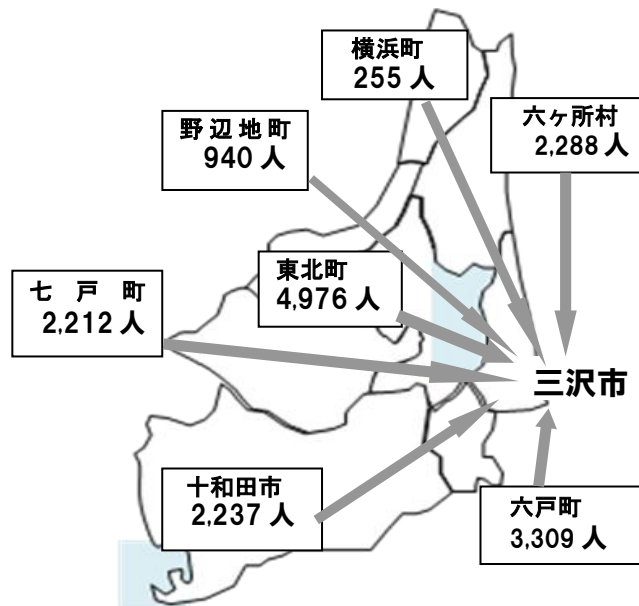
図 三沢市への通勤率・通学率



～資料：平成17年国勢調査～

### ◆ 医療機能

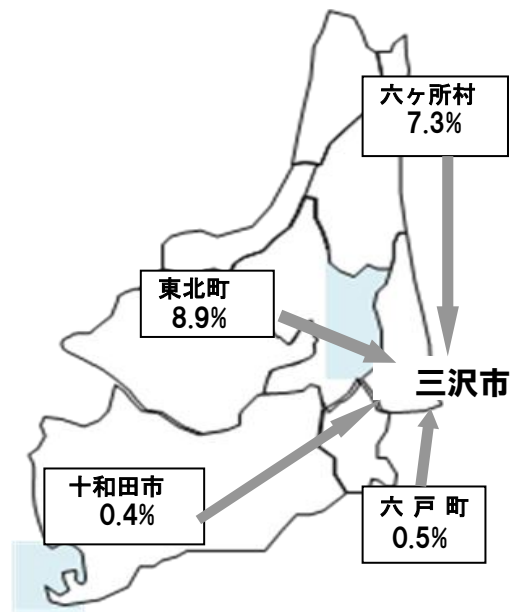
図 三沢市立三沢病院への入院患者数



～資料：三沢市立三沢病院事務局調べ（平成22年度実績）～

◆ 商業機能

図 三沢市への消費者購買実態 買回吸収率



～資料：平成18年度消費購買動向による商圈調査報告書～

十和田市と三沢市が共同中心市として、圏域に居住する住民の生活機能を確保し、地域の魅力を向上させていくため、現在、周辺町村と連携することを想定している取組は次のとおりです。

なお、取組の詳細については、今後連携が予定される町村と協議を行った上で決定します。

#### ア 生活機能の強化

##### ①福祉

- ・圏域内の子育て支援サービスの向上を図る。

##### ②教育

- ・圏域内の図書館における相互利用を図り圏域住民が利用しやすい図書館サービスの推進を図る。
- ・圏域内各市町村が実施する各種講座等の開催情報を相互に提供し合う体制を構築する。

##### ③産業振興

- ・十和田湖及び奥入瀬溪流を軸に、圏域内に有する観光資源の魅力を活かした広域観光を推進する。
- ・圏域の特産品（農産物、水産物、畜産物等）に関する情報を相互に提供し合い、これらを活用した販売戦略を展開する。

##### ④地域防災

- ・圏域内の防災体制の整備、充実を図る。

#### イ 結びつきやネットワークの強化

##### ①地域公共交通

- ・人口減少および高齢化の進展を見据え、圏域内各市町村間を結ぶ生活交通手段を維持・確保するため、公共交通ネットワークの強化と活性化を図る取組を連携して推進する。

##### ②道路インフラ整備

- ・圏域の道路交通網について、関係市町村が課題を共有し、効果的なネットワークの構築に取り組む。

##### ③公共施設相互利用

- ・圏域住民の学習活動、文化活動及びスポーツ活動等の拡充を図るため、圏域市町村が設置する運動施設及び文化・社会教育施設等の相互利用を促進する。

##### ④地域内外の住民との交流促進

- ・イベント情報等を相互に共有・活用することにより、圏域住民の交流機会を増やし圏域の活性化を図る。

## ウ 圏域マネジメント能力の強化

### ①人材育成

- ・職員の資質向上と職員間のネットワークを強化するため、合同研修及び人事交流を行う。

## 4 中心市（十和田市及び三沢市）への通勤通学割合が0.1以上である自治体

### (1) 十和田市

六戸町 (23.7%)      七戸町 (16.5%)      東北町 (10.5%)

### (2) 三沢市

おいらせ町 (21.3%)      六戸町 (17.9%)      東北町 (11.9%)

## 5 中心市（十和田市及び三沢市）と連携する意思を有する自治体

野辺地町、七戸町※、六戸町※、横浜町、東北町※、六ヶ所村  
(※印は、通勤通学割合が0.1以上の自治体です。)